

市長との約束 2024



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

市民協働推進部長

藤島 善光

約束内容	行政区長制度の適正化見直しの実施
達成目標	令和2年度から本市の行政区長制度については懸案事項であり、また、実情として様々な業務をお願いし過ぎている状態にあります。そして、区長の皆様から、区長制度の見直しへの声が出ておりますが、見直しには至っていないため、次のスキームで見直しを行い、区長皆様からの信頼回復に努めます。 ① 庁内で行政区長に依頼している業務の棚卸 ② ①の業務が他の自治体の事例、現在の世相を考慮しながら行政区長業務として適正なのか検討 ③ ②で行政区長業務から外れた業務の実施代替方法について各担当課への指示 ④ 行政区長会との意見交換 ⑤ 改正内容案の作成
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	令和2年4月1日施行の地方公務員法改正後、懸案事項となっていた行政区長の身分の整理と合わせ、これまで曖昧になり複数の区長から申し入れを受けていた区長業務の整理も行い、各区長会長に打診をし概ね理解をいただくことができました。 また、年度内に各区長会へ変更内容の周知を行う目途が立ち、今後は、令和8年度からの委嘱に向けて取り組んでいきます。

約束内容	自治体予算歳出抑制に向けた共同事務化の検討開始
達成目標	4月24日に公表された「地方自治体持続可能性」分析レポートで、大崎地方では本市と美里町が、かろうじて消滅可能性自治体とはならなかったものの、現状としては財政的にもかなり厳しい状況にあり、このことは圏域の自治体も同様の状態であると認識しております。そのような中、今般の人口減少に関するレポートがあり、人口が減れば益々財政的にも厳しい状況となることから、中心市として、現行の定住自立圏をより進化させ、共同事務化に向けた検討を開始し、共同事務化への道筋を年度につけるよう努めます。
達成度	C 達成目標を下回る ★★☆☆☆
達成状況	中期以降、大崎広域4町の方から、令和7年度当初からの本格的調整準備をするには、マンパワーの調整もあることから協議の熟度が足りないので時期尚早との申し入れもあり、令和7年度に検討会議の事務局を担う大崎市の体制も整えたうえで協議を再開することとしました。

約束内容	「地方自治体持続可能性」分析レポートの公表を受けた大崎市元気戦略を含む各種主要事業の検証実施
達成目標	現在、本市では第2期となる地方創生総合戦略が進行中ですが、そのような中、消滅可能性都市に関するレポートが発表になったことを受け、当該総合戦略は毎年指標の確認と検証を元気戦略推進委員会議で行っておりますが、10年前のレポートから0.9ポイント悪化していることから、実施計画の毎年のローリング時期を早め実施計画のなかでも主要な事業を中心に検証を行い、より効率的かつ効果的な施策の推進に取り組みます。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	11月に元気戦略推進委員会議を開催し、これまでの視点から踏み込んだ検証を行った結果を諮り了とされました。 また、外部評価をいただく当該会議メンバーについても、人口減少の鍵となる女性の視点を取り入れるため女性の登用率を5割まで引き上げました。 今後は、総合計画と一体で策定する次期計画策定に向け、新たな視点での意見徴収に取り組みます。

約束内容	男女共同参画と多文化共生の一体化推進に向けた環境整備
達成目標	多文化共生事業が今年度から政策課に移管され、これまで男女共同参画事業を市民協働推進部の所管事業として取り組んでまいりましたが、この二つの事業の根幹は一つであると考えます。 また、昨今では「男女」という言葉だけでも問題視するケースも少なくないという世相になっていると感じております。 したがって、この二つの事業を一体化し、より効果的に事業推進をするために、来年度は課内室、再来年度に課に昇格を目指し、多様化する現状に適格に対応できる組織を作り、意識の拡大に取り組むための地盤づくりに取り組みます。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	庁内手続きを完了し、大崎市議会議員全員協議会にも説明し、新たな組織体制について了解をいただきました。 このことによって、まちづくり推進課の内室として、多文化共生担当と、男女共同参画担当を所管とする「多様性社会推進室」を設置し新年度から業務をスタートさせます。

約束内容	陸羽東線再生に向けた短期的ロードマップの作製について
達成目標	陸羽東線の再生に向けては、検討報告書や利用実態調査、高校生タウンミーティングの結果はあるものの、具体的な共有できるロードマップがないことから、ロードマップを作製し庁内でしっかりと共有し、その後に関係機関などとの共有を行った後に、肉付けと役割分担を更に明確化して実現できるものから順次着手して利用者の増加を目指します。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	沿線地域の方々のヒアリングも行い、これまでの検討報告書や各種調査をベースとしたアクションプランを策定し、3月14日開催の陸羽東線再構築会議に諮ります。 今後は、アクションプランに基づき、沿線を活性化させる組織を立ち上げ、鉄道を利用して訪れたくなる取り組みを官民一体となって取り組んでいきます。